

令和3年度

野木町一般会計、各特別会計歳入歳出決算
及び基金運用状況並びに野木町水道事業会
計、下水道事業会計決算審査意見書

野木町監査委員

令和3年度野木町一般会計、各特別会計歳入歳出決算 及び基金運用状況審査意見書

第1. 審査の対象

1. 令和3年度野木町一般会計歳入歳出決算・・・・・・・・・・ P 2～6
2. 令和3年度財産に関する調書・・・・・・・・・・ P 7～8
3. 令和3年度野木町国民健康保険特別会計歳入歳出決算・・・・ P 9～11
4. 令和3年度野木町介護保険特別会計歳入歳出決算・・・・ P 12
5. 令和3年度野木町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算・・・・ P 13
6. 令和3年度野木町営墓地事業特別会計歳入歳出決算・・・・ P 14

第2. 審査の期間

令和4年7月25日～令和4年7月28日

第3. 審査の実施内容

1. 審査に付された一般会計及び各特別会計歳入歳出決算について、決算その他関係書類が法令に適合しかつ正確であるか、及び適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっているかを主眼に、それぞれの歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、会計別予算執行状況等並びに各関係書類、証拠書類を審査するにあたり、例月出納検査、定例監査等も参考にし、更に関係職員からの説明を求めながら、計数の正確性や予算執行上の適否に重点を置いて審査を行なった。
2. 財産に関する調書については、公有財産、物品、債権及び基金について、特に基金については、運用の状況を示す書類の計数が正確であり、基金の運用が確実かつ効率的に行なわれているかを主眼に、各々の台帳等により計数の正確性や増減・現在高など照査した。
以下、その概要と審査の結果及び意見は次のとおりである。

第4. 決算の概要

1. 一般会計

(1) 概要

一般会計の予算現額は、8,976,803,000円である。前年度に比較して2,366,486,000円の減で、これに対する決算額は、歳入9,075,310,749円（予算現額に対する割合101.1%）、歳出8,542,270,506円（予算現額に対する割合95.2%）である。

当年度の歳入歳出差引額は533,040,243円で、このうち財政調整基金に290,000,000円を繰り入れし、243,040,243円を翌年度へ繰り越した。

(2) 歳 入

一般会計の歳入決算状況は次のとおりである。

一 般 会 計 歳 入 決 算 状 況 (単位：円)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(A)に対する (C)の増減額	(B)に対する 収入率(%)
2年度	11,343,289,000	11,420,272,872	11,327,674,556	8,808,391	83,789,925	△15,614,444	99.2
3年度	8,976,803,000	9,162,544,748	9,075,310,749	6,126,626	81,107,373	98,507,749	99.0
比較増減	△2,366,486,000	△2,257,728,124	△2,252,363,807	△2,681,765	△2,682,552	114,112,193	△0.2

う ち 町 税 徴 収 状 況 (単位：円)

区 分	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	不納欠損額	収入未済額	(B)に対する 収入率(%)	構成比 (収入総額に対 する率)(%)
2年度	3,555,546,000	3,721,585,017	3,629,300,701	8,672,391	83,611,925	97.5	32.0
3年度	3,573,505,000	3,693,075,326	3,606,153,477	6,126,426	80,795,423	97.6	39.7
比較増減	17,959,000	△28,509,691	△23,147,224	△2,545,965	△2,816,502	0.1	7.7

歳入決算額は、前年度に比較して2,252,363,807円の減であり、予算現額に対しては98,507,749円の増で、予算現額に対する収入率では101.1%、調定額に対する収入率は99.0%である。

なお、町税の調定額に対する収入率は97.6%で前年度より0.1ポイント上回った。

(3) 歳 出

一般会計の歳出決算状況は次のとおりである。

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	支出済額		翌年度繰越額	不 用 額	
		金 額	執行率(%)		金 額	予算現額に 対する率(%)
2年度	11,343,289,000	10,972,758,594	96.7	123,547,000	246,983,406	2.2
3年度	8,976,803,000	8,542,270,506	95.2	149,807,000	284,725,494	3.2
比較増減	△2,366,486,000	△2,430,488,088	△1.5	26,260,000	37,742,088	1.0

当初予算額は、7,758,000,000円で、補正予算により1,095,256,000円を増額し、前年度からの繰越額123,547,000円を合わせた予算現額は8,976,803,000円となっている。

この予算現額に対する支出済額は8,542,270,506円、執行率は95.2%で、前年度を1.5ポイント下回った。
なお、翌年度繰越額は、繰越明許費による149,807,000円となっている。

各款ごとの執行状況については、次の「款別執行状況」のとおりである。

款 別 執 行 状 況

(単位：円)

区 分	年度	予算現額	支出済額	執行率 (%)
議会費	2年度	110,110,000	107,572,233	97.7
	3年度	109,165,000	108,475,829	99.4
総務費	2年度	3,696,907,000	3,659,021,074	99.0
	3年度	946,483,000	909,338,265	96.1
民生費	2年度	2,987,752,000	2,927,232,083	98.0
	3年度	3,686,790,000	3,471,691,907	94.2
衛生費	2年度	833,585,000	809,688,417	97.1
	3年度	998,705,000	960,798,851	96.2
農林水産業費	2年度	238,890,000	233,014,930	97.5
	3年度	224,901,000	220,786,414	98.2
商工費	2年度	104,823,000	83,806,271	80.0
	3年度	120,652,000	113,785,898	94.3
土木費	2年度	859,262,000	794,666,873	92.5
	3年度	808,926,000	771,830,243	95.4
消防費	2年度	327,325,000	311,410,224	95.1
	3年度	345,943,000	338,661,635	97.9
教育費	2年度	1,594,680,000	1,458,783,612	91.5
	3年度	1,067,973,000	988,560,459	92.6
災害復旧費	2年度	3,231,000	3,187,800	98.7
	3年度	1,000	0	0.0
公債費	2年度	585,162,000	584,375,077	99.9
	3年度	658,408,000	658,341,005	100.0
諸支出金	2年度	1,000	0	0.0
	3年度	1,000	0	0.0
予備費	2年度	1,561,000	0	0.0
	3年度	8,855,000	0	0.0
歳出合計	2年度	11,343,289,000	10,972,758,594	96.7
	3年度	8,976,803,000	8,542,270,506	95.2

(4) 審査の結果

審査に付された一般会計の決算書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確でその管理状況も適正である。また、適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっていることが認められた。

なお、歳出予算の流用については全て地方自治法の規定によるもので、適正であることが認められた。

(5) 意見

ア. 歳入について、歳入全体の収入済額は、前年度と比較して、2,252,363,807円減少した。

この要因は、主に特別定額給付金2,558,123,206円が制度上終了したことによるものである。なお、町税は調定額の97.6%にあたる3,606,153,477円の収入を確保し、前年度より0.1ポイント上回った。収入総額に占める町税の割合は39.7%で前年度より7.7ポイント上回った。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であり、世の中を取り巻く経済状況等を考えると、財源確保は益々厳しい状況が予想されるため、より一層の行財政改革の推進を図り、効率的・効果的で持続可能な財政運営に努められたい。

イ. 税の不納欠損額は、6,126,426円で前年度比2,545,965円の減(△29.4%)となっているが、実態に即した適時な処理と税負担の公平性の観点からも、今後とも、消滅時効前の徴収業務を強化し、さらに収納率の向上に一層努められたい。

ウ. 歳出は、予算現額8,976,803,000円に対して、支出済額8,542,270,506円、執行率は95.2%。前年度比で1.5ポイント下回った。繰越明許費による翌年度繰越事業については、9事業であり計149,807,000円となった。

また、予備費の充当額は減少したものの、流用においては件数が増加している。今後とも各部署における予算管理の徹底に努め、創意工夫等によって、より効率的・効果的な予算執行に努められたい。

エ. 不用額は、284,725,494円で前年度比37,742,088円の増(15.3%)となっている。

多額の不用額が生じないよう適切な予算額の算定と、金額が確定したものは適時、補正減等を行なうよう努められたい。

オ. 地方交付税は1,244,273,000円であり、前年度比392,353,000円の増(46.1%)となっているが、財政環境は依然厳しい状況にあることから、自主財源の確保及び事務の合理化・効率化をさらに進め、経費節減等になお一層努められたい。

カ. 臨時財政対策債は、発行額110,000,000円であり、前年度より264,000,000円の減(△70.6%)となっている。なお地方交付税の措置はあるものの、実質的には借り入れであり、将来負担軽減のために起債については、より慎重に当たられたい。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア. 土地及び建物

(単位: m² 小数点以下四捨五入)

区 分		土 地 (地積)		建 物 (延面積)	
		増 減	現在高	増 減	現在高
行政財産	本庁舎	0	24,307	0	5,213
	その他の公共施設	0	8,198	0	1,481
公共用財産		1,979	748,026	0	70,178
普通財産		0	117,392	0	1,134
合 計		1,979	897,923	0	78,006

土地の公共用財産の増は、県営佐川南土地改良事業において、生態系保全用地として2カ所合わせて1,979 m²を県から町に譲与されたためである。

なお、普通財産については、増減はなく現在高は昨年度と同じである。

イ. 並木杉の現在高は、昨年度と同じく1本である。

ウ. 無体財産権（著作権）の現在高は、昨年度と同じく4件である。

エ. 有価証券（株券）の現在高は、昨年度と同じく2件で合計5,050,000円である。

オ. 出資による権利

昨年度と同じく栃木県農業信用基金協会出資金他10団体に対しての合計13,869,000円の現在高である。

(2) 物 品

昨年度と同じく乗用車ほか13種の車輛等で、合計82台の現在高である。

(3) 債 権

該当なし

(4) 基 金

基金は、財政調整基金ほか12基金で、277,412,388円の増となり、基金全体の現在高は1,943,268,484円となっている。

基金全体としての主な増は、財政調整基金160,110,118円と特別会計の国民健康保険財政調整基金31,907,565円及び介護保険給付費準備基金81,327,312円である。

財政調整基金の増は、主に前年度決算剰余金の積立て160,000,000円によるものであり、国民健康保険財政調整基金及び介護保険給付費準備基金の増は、主に剰余金の積立によるものである。

なお、当初予定していた財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、地域福祉基金から一般会計への繰入れは、他の財源を確保したため無かった。

(5) 審査の結果及び意見

審査に付された各調書、関係書類、証拠書類について審査した結果、正確であることが認められた。

基金の運用状況については、計数は正確かつ適正であり、当該基金の設置目的に従って確実かつ効率的に運用管理されていることが認められた。

今後とも、健全な財政運営を図るため、安定した基金の保有に努められたい。

3 国民健康保険特別会計

(1) 歳入歳出

国民健康保険特別会計の歳入歳出決算状況は次のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：円)

区分	予算現額	決算額			予算現額に対する率(%)	
		歳入	歳出	残額	収入率	支出率
2年度	2,854,950,000	2,798,765,093	2,766,861,174	31,903,919	98.0	96.9
3年度	2,856,555,000	2,744,244,555	2,686,802,104	57,442,451	96.1	94.1
比較増減	1,605,000	△54,520,538	△80,059,070	25,538,532	△1.9	△2.8

うち国民健康保険税徴収状況

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率 (対調定額) (%)	構成比 (対収入 総額)(%)
2年度	611,753,000	730,971,839	608,512,903	10,341,198	112,117,738	83.2	21.7
3年度	588,008,000	721,574,688	598,904,560	7,019,995	115,650,133	83.0	21.8
比較増減	△23,745,000	△9,397,151	△9,608,343	△3,321,203	3,532,395	△0.2	0.1

歳入決算額は2,744,244,555円で、前年度に比較して54,520,538円の減(△1.9%)である。

国保税については、調定額721,574,688円に対し、収入済額598,904,560円で不納欠損額が7,019,995円、収入未済額が115,650,133円となっており、調定額に対する収入率は83.0%で前年度より0.2ポイント下回った。

歳出決算額は2,686,802,104円で、前年度に比較して80,059,070円の減となっている。

歳入歳出差引額は、57,442,451円で翌年度への繰越金となった。

なお、歳出の款別前年度対比状況は次表のとおりである。

款別前年度対比状況

(単位：円)

区 分	年度	予算現額	支出済額	支出済額の 前年度対比 (%)
総務費	2年度	45,509,000	41,428,598	92.0
	3年度	42,182,000	38,130,727	
保険給付費	2年度	1,946,879,000	1,879,585,764	98.5
	3年度	2,002,839,000	1,852,112,818	
国民健康保険 事業費納付金	2年度	779,607,000	779,605,657	93.0
	3年度	725,274,000	725,273,095	
共同事業拠出金	2年度	119,000	118,852	100.0
	3年度	119,000	118,866	
保健事業費	2年度	22,756,000	16,672,908	131.7
	3年度	25,649,000	21,958,288	
積立金	2年度	14,057,000	14,055,093	227.0
	3年度	31,908,000	31,907,565	
諸支出金	2年度	36,023,000	35,394,302	48.9
	3年度	18,897,000	17,300,745	
予備費	2年度	10,000,000	0	—
	3年度	9,687,000	0	
歳出合計	2年度	2,854,950,000	2,766,861,174	97.1
	3年度	2,856,555,000	2,686,802,104	

(2) 審査の結果

審査に付された決算書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確である。また、適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行っていることが認められた。

(3) 意見

ア. 国保税の収入未済額は、前年度より 3,532,395 円の増となっている。被保険者に対し国保制度について十分に理解を求め、保険税滞納者に対しては、納税相談等により、個々の滞納状況を把握し関係各課との連携を密にして、さらなる滞納額の減少に努め、収納率の向上に努められたい。

イ. 国保税の不納欠損額については、前年度より 3,321,203 円の減となっているが、負担に対する公平性の確保のためにも不納欠損を発生させぬ様、今後とも滞納者への積極的な対応によって、消滅時効前の収納に努められたい。

ウ. 歳出では、今後とも医療費にかかる支出の抑制のため、さらなる疾病予防対策、特に特定健診の受診率の向上及び適正受診等の啓発に努められたい。

エ. 受益者負担の原則に則り、一般会計からの繰入等の抑制のため、今後とも国保財政の健全化を図るための財源確保と国保財政調整基金の充実に努められたい。

4 介護保険特別計

(1) 歳入歳出

介護保険特別会計の歳入歳出決算状況は次のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：円)

区分	予算現額	決算額			予算現額に対する率(%)	
		歳入	歳出	残額	収入率	支出率
2年度	2,174,236,000	2,211,362,039	2,109,856,887	101,505,152	101.7	97.0
3年度	2,267,363,000	2,275,242,442	2,183,667,447	91,574,995	100.3	96.3
比較増減	93,127,000	63,880,403	73,810,560	△9,930,157	△1.4	△0.7

歳入決算額は、2,275,242,442円で、前年度に比較して63,880,403円の増(2.9%)となっている。

保険料は、調定額592,793,286円に対し、収入済額586,981,990円となっており、調定額に対する収入率は99.0%で、前年度と同率であった。なお、不納欠損額は2,057,080円であった。

歳出は、予算現額2,267,363,000円に対し、決算額2,183,667,447円で支出率96.3%、不用額83,695,553円となっている。

歳入歳出差引額は、91,574,995円で翌年度への繰越金となった。

(2) 審査の結果

審査に付された決算書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確である。また、歳出予算の流用については全て地方自治法の規定によるものであり、適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっていることが認められた。

(3) 意見

保険料の収入未済額は減少しているものの不納欠損額が増加となっており、滞納者に対しては、負担に対する公平性の確保のためにも不納欠損を発生させぬ様、消滅時効前の収納に努めるとともに、今後とも他会計との連携を密にして、より一層の保険料徴収強化に努められたい。

5 後期高齢者医療特別会計

(1) 歳入歳出

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出決算状況は次のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：円)

区分	予算現額	決算額			予算現額に対する率(%)	
		歳入	歳出	残額	収入率	支出率
2年度	328,726,000	324,331,105	322,312,964	2,018,141	98.7	98.1
3年度	335,654,000	332,183,992	329,336,196	2,847,796	99.0	98.1
比較増減	6,928,000	7,852,887	7,023,232	829,655	0.3	0.0

歳入決算額は、332,183,992円で、前年度に比較して7,852,887円の増(2.4%)となっている。

保険料は、調定額260,436,820円に対し、収入済額259,845,170円となっており、調定額に対する収入率は99.8%で、前年度より0.1ポイント上回った。なお、不納欠損額は、373,300円であった。

歳出は、予算現額335,654,000円に対し、決算額329,336,196円で支出率98.1%、不用額6,317,804円となっている。

歳入歳出差引額は、2,847,796円で翌年度への繰越金となった。

(2) 審査の結果

審査に付された決算書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確である。また、適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっていることが認められた。

(3) 意見

保険料の収入未済額は減少しているものの不納欠損額が増加しており、滞納者に対しては、負担に対する公平性の確保のためにも不納欠損を発生させぬ様、消滅時効前の収納に努めるとともに、今後とも他会計との連携を密にして、より一層の保険料徴収強化に努められたい。

6 町営墓地事業特別会計

(1) 歳入歳出

町営墓地事業特別会計の歳入歳出決算状況は次のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位：円)

区分	予算現額	決算額			予算現額に対する率(%)	
		歳入	歳出	残額	収入率	支出率
2年度	39,378,000	38,476,752	13,883,852	24,592,900	97.7	35.3
3年度	43,045,000	44,500,960	14,027,755	30,473,205	103.4	32.6
比較増減	3,667,000	6,024,208	143,903	5,880,305	5.7	△2.7

歳入決算額は、44,500,960円で、前年度に比較して6,024,208円の増(15.7%)となっている。

歳出は、予算現額43,045,000円に対し、決算額14,027,755円で支出率32.6%、不用額29,017,245円となっている。

歳入歳出差引額は、30,473,205円で翌年度への繰越金となった。

(2) 審査の結果

審査に付された決算書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確である。また、適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行っていることが認められた。

(3) 意見

例年、多額の予備費が不用額となっており、公債費の繰り上げ償還をするなど適正な処理に努められたい。

令和3年度野木町水道事業会計、下水道事業会計決算審査意見書

第1. 審査の対象

1. 令和3年度野木町水道事業会計決算・・・・・・・・・・P15～16
2. 令和3年度野木町下水道事業会計決算・・・・・・・・・・P17～18

第2. 審査の期間

令和4年7月25日～令和4年7月28日

第3. 審査の実施内容

決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であるか及び適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっているかを主眼に、例月出納検査、定例監査等も参考にし、決算報告書及び決算附属書類並びに各関係書類、証拠書類を審査し、計数の正確性、財政状況及び経営状況、予算執行上の適否など、事業全般にわたり審査を行なった。

第4. 決算の概要

1. 水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収益的収支予算、決算の対比状況は、次のとおりである。

収益的収支予算・決算対比表（消費税込）

(単位：円)

区 分	予 算	決 算
収 益	404,267,000	399,532,473
費 用	385,562,000	365,405,582
(収益－費用)	18,705,000	34,126,891

収益決算額は、399,532,473円で、予算額404,267,000円に対し、4,734,527円の減である。

費用決算額は、365,405,582円で、予算額385,562,000円に対し、20,156,418円の減である。

収支面では、水道事業収益366,056,652円(消費税抜)に対し、水道事業費用350,434,187円(消費税抜)で当年度純利益15,622,465円の黒字となった。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収支予算、決算の対比状況は、次のとおりである。

資本的収支予算・決算対比表(消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算	決 算
収 入	60,569,137	47,392,862
支 出	207,853,137	170,012,565
(収入－支出)	△147,284,000	△122,619,703

収支面では、建設改良費の財源としての企業債20,000,000円及び思川浄水場施設整備基金26,952,862円を取崩し、繰入した資本的収入合計47,392,862円(消費税込)に対し、資本的支出170,012,565円(消費税込)で122,619,703円の不足を生じたため、内部留保資金並びに消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填している。

なお、翌年度事業として、建設改良費7,480,000円を繰り越している。

(3) 審査の結果

審査に付された決算報告書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確で適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっていることが認められた。

(4) 意 見

今後とも企業経営の基本的原則に立ち、収納率の向上に努められたい。

2. 下水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収益的収支予算、決算の対比状況は、次のとおりである。

収益的収支予算・決算対比表（消費税込）

（単位：円）

区 分	予 算	決 算
収 益	693,208,000	719,372,716
費 用	619,709,000	610,164,987
(収益－費用)	73,499,000	109,207,729

収益決算額は、719,372,716 円で、予算額 693,208,000 円に対し、26,164,716 円の増である。

費用決算額は、610,164,987 円で、予算額 619,709,000 円に対し、9,544,013 円の減である。

収支面では、下水道事業収益 683,493,136 円(消費税抜)に対し、下水道事業費用 589,491,178 円（消費税抜）で当年度純利益 94,001,958 円の黒字となった。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収支予算、決算の対比状況は、次のとおりである。

資本的収支予算・決算対比表（消費税込）

（単位：円）

区 分	予 算	決 算
収 入	412,552,000	407,738,100
支 出	654,988,000	640,483,317
(収入－支出)	△242,436,000	△232,745,217

収支面では、繰越を含めた建設改良費の財源として157,500,000円及び企業債元金償還金の財源として139,900,000円の併せて297,400,000円の企業債、一般会計出資金20,307,000円、工事負担金869,000円、公共下水道事業国県補助金84,600,000円並びに公共下水道事業及び農業集落排水事業の受益者負担金及び受益者分担金の4,562,100円を併せた資本的収入合計（消費税込）407,738,100円に対し、資本的支出640,483,317円（消費税込）で232,745,217円の不足を生じたため、内部留保資金、費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに当年度未処分利益剰余金で補填している。

(3) 審査の結果

審査に付された決算報告書並びに附属書その他関係書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は正確で適正かつ効率的・効果的な予算の執行を行なっていることが認められた。

(4) 意 見

使用料の負担に対する公平性の確保及び健全運営のために、より一層の収納率の向上に努められたい。